

## 建設候補地及び移転時の跡地活用についての意見一覧

今回の基本構想の内容に関するパブリック・コメントの意見には、パブリック・コメントで取り扱う意見と共に、絞り込んだ2か所の建設候補地に関する市民個々の考えが寄せられました。また、庁舎が移転した場合の跡地活用に関する意見も寄せられました。

そのため、パブリック・コメントの意見反映状況とは別に、頂いた意見の建設候補地・跡地活用に関する部分を抜粋し、現庁舎用地、泉町所有地、跡地活用に分類して掲載します。

建設候補地は、最終的にいずれか1つに決定することとなります。今回策定する基本構想を基に、市民意見を踏まえ、防災性、利便性、まちづくり等の多様な視点から総合的に検討し、遅滞なく決定してまいります。

### ○建設候補地に関する意見提出者の居住地内訳

希望する候補地	合計	東元町	西元町	南町	泉町	本町	本多	東恋ヶ窪	西恋ヶ窪	東戸倉	戸倉	日吉町	内藤	富士本	新町	並木町	北町	光町	高木町	西町	市外※	
現庁舎用地	22							2	4	1	9	2		1		2			1			
泉町所有地	30	4	3	3	7		2	1	2		1	2	1	1				1		1		1

※市内在勤・在学、市内で事業活動又は公益的活動をしている方

### ○現庁舎用地建替えを希望する主な理由

- ・地理的に中央であること
- ・移転により周辺地域の衰退につながる懸念があること
- ・長く現在地にあり、市民生活に定着していること
- ・恋ヶ窪駅から至近であり、隣接する都市計画道路も開通予定でアクセスが良いこと
- ・用地取得費用が不要であること

### ○泉町所有地への移転を希望する主な理由

- ・利用者が相対的に多い西国分寺駅に近く、周辺道路も広くアクセスが良いこと
- ・敷地に余裕があり、活用方法に幅があり工事もしやすいこと
- ・武蔵国分寺公園や移転する消防署と隣接し、災害対応がしやすいこと
- ・仮設庁舎が不要で取得する土地は市の資産となること
- ・武蔵国分寺跡に近く市の魅力発信につなげられること

#### 1 現庁舎用地での建替えを希望する意見

1	市庁舎をどこに建てるかとのことですが、現在2ヶ所の候補地がある由、いずれも一長一短あるとは思いますが、どうあるべきかを考えれば、現在の場所に建てるべきかと考えます。現在の庁舎は、町の中央部にという考えで建てられたはずで、そこから泉町に動かさねばならないことがあるのでしょうか。移るとなれば、近隣のお店等、そんなはずではなかったということになるのではないのでしょうか。市の中心部に市庁舎と郵便局・駅と便は悪くないと、居を構えている市民は沢山いると思います。幸い、国3・2・8号線の開通利用も先が見えてきたようで有難いことです。
2	自宅に届いた広報誌からは泉町へ移転したいという市の意図が感じられたが、私は現庁舎用地での建て替えを希望する。恋ヶ窪は庁舎があることで発展してきた街であり、移転するとさらなる空洞化が懸念される。またJR中央線ばかりに公共施設を集めるのではなく、西武線の近くにも公共施設を配置することが必要である。泉町所有地を借用して仮庁舎を建設すれば、恋ヶ窪の建て替えも安価に短期間で行えるのではないか。

	<p>■ 基本構想(案)に対する見解</p> <p>『現庁舎用地での建て替え』に賛成、『泉町都有地移転』に反対、を立場とする見解である。</p> <p>見解① 『泉町都有地移転』は、公職員の利便性という視点での構想に見えてしまう。市民そしてその税金で運営される市役所である。公職員の利便性という視点を徹底排除し、市民の意見を最優先させなければならない。また、小さな政府というコンパクト化の時代にあり、これに逆行する方向には賛同できない。</p> <p>見解② 『泉町都有地移転』は、元々交通の便が悪いとされる西町・高木町・北町からさらに遠くなり、利便性が今以上に悪くなることを決して忘れてはならない。</p> <p>見解③ 『泉町都有地移転』は、泉プラザ前の位置しているため、市民から見ると利便性が大変悪い。泉プラザは何度も自動車を利用してはいるが、西国分寺駅からの距離が大問題である。(西国分寺駅前から自動車でも距離があると感じる)</p> <p>障害者は別途優遇するとして、健常者であっても、高齢者や一時的疾患や元々足腰が弱い人で公共交通機関を利用する者にとっては大変酷なものとなる。公共バスも隣接道に運行されておらず、無料シャトルバスを出す検討が必要となる。だがこれも利用する側にとれば、ますます面倒になる一方である。</p> <p>『現庁舎用地での建て替え』では、これらの問題は発生しない。鉄道・公共バスの他、小さいながらタクシーターミナル(龍生)まで近距離に位置している。また、現庁舎すぐ脇を通る予定の府中街道バイパス(反対の立場だが)が開通すれば、自動車での便も確実に良くなることは言うまでもない。また交通の便以外でも、市役所側にとって便局本局や取扱銀行である多摩信がすぐ脇にある方が利便性が良いのでは？</p> <p>見解④ 『泉町都有地移転』は、現在本庁舎周囲にある店舗等への影響も考慮しなければならない。一般企業の移転でも同じだが、周囲に影響を出して廃業等に追い込んでしまう危険性がある。地域に根ざした公的機関の場合は、これを回避する『義務』があることは言うまでもない。またその認識を公職員一人一人が強く持つべきである。</p> <p>一方、泉プラザ周辺は図書館・公園・マンションのみで新店舗が建つ可能性が低く、地域活性化という観点では全く意味がないとも言える。</p> <p>見解⑤ 床面積不足と『現庁舎用地での建て替え』後の周辺への景観懸念に関して。床面積が足りないなら、上空に伸ばすことばかりを考えず、地下に伸ばす方法を考えるべき時代である。この方法であれば、旧本庁舎以下の地上2F程度でも床面積拡張が大いに期待できる。さらに地下に駐車場を作ってもよい。</p> <p>建屋モデルケースとして、オリンピック小金井店(小金井市貫井北町4-3-1)を例として挙げる。隣接するNICT(旧通信総合研究所)における試験観測の電磁界の影響に配慮し、地上に店舗用フロアは存在せず、地下2Fに広大な店舗用フロアが存在することは周知の事実である。</p> <p>要はヤル気と気概の問題であり、何でも単純簡単に済ませようとするお役所的な建屋の構想には賛同できない。</p> <p>見解⑥ 『現庁舎用地での建て替え』で、建屋建設中における建設効率や利便性の悪さを検討要素として指摘しているが、意味が全く理解できない。良い例がある。鉄道駅の建て替えに際し、建設効率や利便性が悪いから駅そのものを移転しますと言っているようなものである。実際にはそんなことをせずとも、国分寺駅は見事に立て替えられている。どんな建設作業でも同じこと、常に付き纏うものであって避けては通れないと認識すべきである。新庁舎への建て替えに向かうための一時的な不便さであり、その間の不便さは多くの市民に納得してもらえるものと信じている。再度言及するが、公職員のために建て替えるわけではないことを肝に銘じておくことである。</p>
4	<p>国分寺市役所庁舎は、半世紀以上、現在地にあり、多彩な市民生活に定着しております。特別な事情がない限り、極力、現在地で建て替えるべきです。仮庁舎などは、なんとでもなります。</p>

5	<p>少数派意見ではあろうが、恋ヶ窪に住んでいる人間からすれば現庁舎を泉町へ移転させることは言語道断としか言いようがない。市役所に訪れる人他を中心にサービスを展開している周辺店舗等も存続が困難になるであろうし、移転後の恋ヶ窪の寂れ方は想像に難くない。恋ヶ窪の駅からの近さに反して、西国分寺の駅から遠いのも大きな欠点だ。</p> <p>市の文書には、「西国分寺駅を中心に開発が進み、近隣に都立図書館、いずみプラザ、都立公園等の、まちの活性化に寄与する拠点施設が多く立地する」とあったが、逆に言えば『まちの活性化に寄与する拠点が既に十分存在する』場所だと言う事だ。</p> <p>極論、市役所がなくても発展し、今後も無くても周辺住民の豊かさがほぼ減じない場所である。逆に、重要な臓器のようでもある市役所を引き抜いた後に恋ヶ窪に何が残るのだろうか？ 寂れた住宅街？</p> <p>また、以下の記述もおかしい。「現庁舎をそのまま残し使えるので、工事中の市民利用に影響はない」。『工事の影響は取り上げてそれ以降の期間を取り上げないのは悪影響の矮小化である。恋ヶ窪周辺の人間にとっては市役所が遠くなり、周辺の経済活動が萎むという深刻な影響がずっと継続する。その視点がない。』まるで恋ヶ窪在住の人間はもう切り捨てて忘れたかのような記述であり、極めて不愉快だ。恋ヶ窪の住民は国分寺市民ではないのか？？ 活性化のためのテコ入れをする必要を失った土地なのか？？</p> <p>市役所移転は総合的に言って「恋ヶ窪周辺の住人を見捨てる」所行でしかない。移転後の跡地利用法も明記がなく、不安しかない。ふんばすはそのままここに来てくれるか？ 公共サービスの窓口は残るのか？ 最大の問題として、市役所がなくなってその分だけ人の来なくなる恋ヶ窪はどうなるのか？ ペンペン草だけ生えるような半端な公園でも作られた日には目も当てられない。資料に移転後の地域の経済状況のシミュレーション等も無く、そもそも考慮自体が無さそうな泉町移転を支持することは一切出来ない。また、中央線沿線である西国分寺には既に十分な賑わいとサービスの空間と商業施設等がある。既に十分便利な場所として機能している。国分寺駅の再開発に予算を傾け、さらに西国分寺に公共サービスを集約させることはJR駅周辺とそれ以外の場所との格差拡大の推進でしかない。同じ市内で土地にこれだけ扱いに差があればアンフェアというべきであろう。西国分寺への移転で西国分寺住人はさらに豊かなサービスが楽に受けられ地価も上がるだろうが、恋ヶ窪は公共から捨てられた土地になるだけだ。西国分寺周辺の元々地価の高い土地を所有する人間は笑いが止まらないであろう。しかし、そういう者たちに与するために公共は存在するのか、よく問い直して欲しい。</p> <p>市の発展を考えると、サービスの集中は一見効率化が図られるように見えるが、それが単なる切り捨てに過ぎないことは、東京に公共施設を集約させた結果として地方がどうなったかを見れば一目瞭然である。</p>
6	<p>移転先の西国分寺について、防災拠点の集約の目的はわかりませんが、泉町はほぼ府中であり、国分寺市役所が府中に移ってしまうイメージです。また、防災拠点を集約すると国分寺市北側エリアの住民は大きな行政の防災拠点から遠くなってしまいます。逆に防災拠点は分散されている方が各エリアの住民は安心です。また、恋ヶ窪周辺から庁舎がなくなれば、この地域がますます寂れていく事を非常に懸念しています。小さい頃から慣れ親しんだ恋ヶ窪商店街もどうなってしまうのでしょうか。現市役所周辺の住民は、市役所が近いというメリットで家を購入している人もおり、利便性や資産価値下落も懸念されます。多摩中央図書館含め、都や市は中央線沿線に様々な機能を集約されようとしています。目を向けるべきは市の全体エリアの中でどの位置が市民が集まりやすいかだと思います。市役所は中央線沿線や市外の住民の為の施設でしょうか？ そうではないはずです。中央線沿線に比べ寂れていく、それ以外の地域を活性化すべく、市役所をあえて現在の場所にし、国分寺市民や立地的弱者を守る姿勢を自ら示すべきです。市役所が泉町に移転してしまえば、国分寺北側エリアから、ますます行政の主な拠点はなくなり、南と北に偏りが生じていくと思います。</p>
7	<p>私がこの家を選んだのは何と言っても市役所・駅が近いからです。ですから当然、今の位置に建て替えて欲しいと考えています。西国分寺近辺に移動する場合は、市役所近辺の家の評価額の低下を招くと思います。これは数十年にわたる既成の権利が侵されるということです。</p> <p>また、西国分寺の近辺は遺跡が出ると考えるのが常識であるはずですが。出ないと考えているならその根拠を知らせてください。そして、出た場合の対応について公開された計画では、全くそれによる工期の遅れや、それによる建設費の積み上げが示されていません。出たら出たときのことだという不届きな声が聞こえてきそうに思います。今の国分寺市政がそんなあり方をしているはずはないと信じていますが、計画の積算表の欄外に出るかも知れませんが済まないと思います。是非まっとうな対応をお願いしたいと思います。</p>
8	<p>国分寺市新庁舎、現在地での建設を希望します！ 泉町は交通の便が悪く、現在3歳児の母ですが、健診や母子相談に行くのに、行きたくても不便で諦める事が多いです。せめて市庁舎は駅から徒歩ですぐ着く現在地での建設をお願いします！</p>

9	<p>庁舎の建設地としては、候補A(現庁舎用地)が候補Bよりも適していると考えます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国分寺市の中心位置であり、人口の重心にあることで市民全体に平等にサービスできる</li> <li>2. 駅から近く、年寄りや、車に乗らない方も市役所へのアクセスが容易。さらに計画道路の整備により、公共交通機関が使えない方も自動車でアクセスしやすい。つまり車を使わない方も使う方も候補Aが候補Bに対し、非常にアクセス性が良い</li> <li>3. 災害時に自動車による物資運搬や、車によるサービスが高規格の計画道路に隣接しており、有利</li> <li>4. 西国分寺付近に消防署や災害本部が集中すると一箇所が災害にやられると代替の機関や場所がなくなる。リスク分散すべきである。</li> <li>5. 建設費が安価</li> <li>6. 現在の市役所によって成り立っている恋ヶ窪の商店や飲食店への影響がないなどの理由から候補Aが適していると考えます。</li> </ol>
10	<p>市役所の場所は現状通りを希望します。理由はただでさえ淋しい恋ヶ窪近辺が市役所移転によりゴーストタウンになることが危惧されるためです。 恋ヶ窪近辺の活性化についても検討をお願いします。</p>
11	<p>庁舎用地1期建て替え案に賛成です。既に市有地があるのに、40億もかけて用地を取得することは納得できません。ツインタワー建設も借金の上にマンションが完売しておらず、また借金を重ねて税金の無駄使いです。そもそもツインタワー内に市役所を作れば良かったのに議会や市長にはその策はなかったのでしょうか！立川市に近い市民のためにも現庁舎用地での建設を検討下さい。</p>
12	<p>現状の「恋ヶ窪」を希望します。理由は以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市の中心部にあるから</li> <li>2. 昔からあり住民にとって親しみがあるから</li> <li>3. ローカル線とは言え、駅から近いから</li> <li>4. 置いてきぼりにされている恋ヶ窪駅周辺の発展のため</li> <li>5. 自宅を購入する際、近くに市役所がある利便性を重視したから</li> <li>6. 移転候補である泉町は埋蔵文化財の調査が必要であり、現庁舎用地を建て替えるよりもコストアップすることが想定されるから</li> <li>7. 既存調査解体費が未知数であり、現庁舎を建て替えるよりもコストアップが予想されるから</li> </ol> <p>※3の補足として、私事ですが、幼児連れで住宅購入・転入手続で市役所を訪れる際、駅から近くとても助かったのが大きいです。バスだとかさばるベビーカー使用は気兼ねします。 また、朝、市役所敷地内を通過して登校している小学生がいます。いまは職員の方が出入りしているため安心ですが、市役所が移転してしまうと人目がなくなり治安が心配です。</p>
13	<p>候補地が2か所に絞られたとのこと。既存地での建設を希望します。既存の土地があれば、新たに土地取得に比べ、建設にかかわる総事業費が少なく済む利点があり当然現在地での事業を進めるべきではないでしょうか。様々な不都合が出るのは、程度の差があっても発生するものです。</p> <p>一方、交通面での利便性では、自動車面では現在進んでいる新府中街道の完成が、電車面では恋ヶ窪駅が至近の距離にある利点があります。また、バスの面では、ぶんバス日吉町循環、北町ルートの運行、一方路線バスの運行があり、何れも国分寺市役所、恋ヶ窪駅前の停留所があり利便性が大きい。</p> <p>現在地での庁舎建築(分散している業務が集中)により今までと違った人の流れ生ずる事が想定できます。泉地区とは自ずと違った街づくりとなります。</p> <p>現市庁舎周辺の関係する民間事業者に与える影響も無視できません。国分寺郵便局の存在も現所在地で建設が必要かと思えます。また、恋ヶ窪駅の利用者増加が予想され、西武鉄道との相互依存関係がより密接になります。</p> <p>国分寺駅周辺・西国分寺駅(泉町)周辺、恋ヶ窪駅周辺と3駅中心の街づくりが必用です。</p>

14	<p>アンケート等の結果を見ると候補地として、泉町所有地が多いように見えるが(泉町に近い居住地の回答が多い結果とも思える。)下記に理由で「現庁舎用地での建て替え案」(A-1)がベストと考えられる。</p> <p>1 当市の財政状況は厳しく、税収の多くも期待できない状況にあるので、最小の経費で計画する。(必要とする経費は、削るべきではないが。)</p> <p>2 泉町所有地は、用地取得費が多額である。</p> <p>3 西武国分寺線は、昔より、運転回数も増え、隣接するバイパス工事(都市計画道路)も進んでおり、従前より利便性は格段に向上する。</p> <p>4 泉町所有地に移転の場合は、地元対策や議会对策(特別多数決)で、跡地活用で何らかの施設等を建設することになると思うので、トータル費用で考えると、建て替え案の方が、より安くできる。(跡地活用に関する経費は、想定事業費に算出されていない。)</p> <p>5 仮庁舎は、1か所の広い敷地でなく、既存施設の利用を含めて、分散庁舎の対応であっても市民の理解は得られるだろうし、経費の節減になると思われる。</p> <p>6 バイパス道路(都市計画道路)の供用開始まで、東京都から道路用地を一時的に借りて、仮庁舎、臨時駐車場用地として暫定利用ができれば、さらに事業費の節減になる。(可能性は十分にある。)</p> <p>7 アンケートによると、市役所への来庁者は、自転車・徒歩が多いため、JR中央線の利用は、重要視しなくてもよい。自動車での来庁者も多いが、バイパス道路(都市計画道路)が、「市役所通り」まで開通すると利便性は格段に向上する。</p> <p>8 現在地での庁舎は、歴史もあり、市の中心部にあり、公共施設などの地域のバランスも必要である。</p> <p>9 泉町候補地に移転となると、中央線北側地区の賑わい、発展が大いに阻害される。</p> <p>10 市民の多くが、新庁舎建設の必要性を感じるのは、老朽化、庁舎機能の分散等にあり、立地場所の問題ではないものと思われる。</p>
15	<p>AかBでせまってきているが、Bにすると西町、高木町、光町、北町、並木町、新町などが使いにくくなる。東西に長い国分寺市には、永い目で見ても現有地が市民全体ががまんできるところと考えている。B地は中央線、武蔵野線に近いところであり、東京の多摩地域全体のしあわせのために活用すべきと考えている。たとえば、子供専用の病院や障害者の治療施設などあればすごく助かるはずである。まんがいちB地を優先するなら用地取得費をべらぼうに下げさせるべきと考える。税金で取得したとちにはかわりがないはずだから！</p>
16	<p>私は現庁舎をのぞみます。地理的に国分寺の中心であるからです。高れい者にとって、みじかに通える交通手段、又、今ある商店がいの活性化など検討しながら、新庁舎が出きることをのぞみます。</p>
17	<p>A案に賛成。なぜなら費用がBに比べてかからない。建物の高さ、広さ、土地の利用の仕方などのついてはさらに研究の余地がある。B案は今、なのない所に建設するのだから、設計計画案のみでよからうが、現庁舎のあるところからBに移転した場合は、現庁舎の後の土地をどのように使うのかを市民に明確にしておかなければ、地域住民は納得できない。公共施設再配置計画と切り離してばらばらに実施するのは何ともお粗末。今計画に、現市庁舎の後地をどのように使っていくのかビジョンを書き加えて示してほしい。</p>

18	<p>2. 新庁舎建設地については、現市庁舎用地にて周辺(2キロメートル四方圏)街づくりと共に計画する事で、接合する都計画道路や既存道路との出入り口等の最適化が図れて市民も安心出来ます。現市庁舎を中心に半径2キロメートル範囲に居住されている市民は、当初から市の発展と繁栄を支えながら、安全で安心な街づくりに協力して来られた立派な市民で有ると考えております。そのような大きな支援協力を無視せず、他地域の市民よりもっと優先して、この機会に現状市民生活の不安や心配事、将来の生活環境の向上についての意見や考え(夢・構想等)を吸い上げて、整理して、それらの市民の希望・夢の実現に向けた新市庁舎&amp;新街づくり計画になれば、市民の理解や協力も得易くなると思います。まずは、現市庁舎から半径2キロメートル範囲に居住されている全市民世帯の希望や考え等を聴き取る事から着手して貰いたい。</p> <p>4. 都計画道路に接する公的な用地の活用策として、国分寺市の100年先を見据えた総合的な未来都市&amp;街づくり計画を手掛けてみて欲しいです。それにより計画・開発・建設等に相応しい関係法令や条例が見えて来るかと思えます。地域と共に発展出来る新市庁舎建設で有るべきと考えます。現状の建設関連法・条例の範囲内での新市庁舎建設は取り止めるべきです。100年先の市民に誇って残せる新しい構想に基づいた未来の都市・街づくりの指定モデル特別地域となって、市民の夢ある新市庁舎と街づくり計画が実現できる絶好のチャンスを活かして貰いたい。</p>
19	<p>新市庁舎建設基本構想(案)は、将来の国分寺市の庁舎像がイメージされており、具体的な内容については、ステップを踏んで検討を重ねれば、確実に前進して纏まると思えますので、ここでは特に建設候補地について、意見を述べさせていただきます。</p> <p>市民生活における、新市庁舎の在り様を大きく左右するのは、建設地の選択です。一定の条件から二か所に絞り込まれた、①現庁舎用地(戸倉)と、②泉町都有地について、防災性、利便性、まちづくり、実現性、経済性の視点から分析がされています。これらをどのように評価するか。はっきり申し上げて、どちらにでも誘導が可能です。個々の項目ごとに見ていくと、②泉町都有地 に優位性があるように見えますが、ここに新庁舎を建設した場合、市民サービスの拠点が、市域の南端に偏ってしまいます。確かに、周辺には多くの公共施設が集積し、相乗効果を生むことは間違いありませんが、あまりに偏って、他の市域との格差は拡大し、マクロ的に見てバランスを欠きます。大半の市域は、これらの拠点からははるかに遠く離れてしまうことになり、多くの市民に、自分たちは取り残されたとの印象を与えることは必至です。</p> <p>一方、①現庁舎用地は、国分寺市の中心(重心)に位置し、ここは、東京都の重心でもあります。長年市民に親まれた場所であり、かつ、市の中心を南北に貫く都道17号線が、近い将来開通し、市域全域からのアクセスも便利になります。すでに公共施設の集積が進んだ泉町地区とは別に、現庁舎の跡地に新市庁舎を建設し、北部地域を含む市域全体のさらなる活性化を図るべきではないでしょうか。これら北部地域の活性化は、これからの国分寺市の持続的発展に不可欠と思えます。泉町地区への一極集中は、確かににその周辺では効率的かもしれませんが、戸倉地区と泉町地区の複眼的存在が、将来の市域の衰退の歯止めとなることでしょう。建設は、多少長くかかっても、1期、2期に分けて建設し、仮設庁舎も最小限にとどめる工夫も可能かと思えます。何より用地費用が不要のメリットは大きいです。市民アンケートでは、JR駅から近いことを望むとの集計結果ですが、選択回答では当然の結果でしょう。現実の来庁者の多くは車を利用しています。あくまでも、将来の市域全体のまちづくりを、バランスよく行う視点から、建設候補地の決定を切に願っております。</p>
20	<p>Aの現庁舎用地が良いと考えました。理由は以下の2点です。</p> <p>①移転による、恋ヶ窪駅周辺への経済的影響  ②西国分寺駅近くの土地の取得による、将来に渡っての経済的影響</p> <p>①については、市役所があることで、職員の方や訪問者により周辺の小売や飲食店への売上向上に繋がっていたと思うのですが、それが無くなることで恋ヶ窪駅周辺の経済は悪化すると思われまます。</p> <p>②について、用地の取得に約40億かかるとのことですが、この地価はその経済的效果も踏まえた価格だと思えます。つまり、この駅前用地に商業施設を建てれば、いずれ40億以上の利益をもたらす、ということ。そのような市内の経済を活性化させる土地に市役所を建てる、というのはメリットデメリットあると思いますが、長期に渡って考えると、結果的に得られる利益を得られない、損失をもたらす可能性があると思えます。私が過去に済んでいた三鷹市・武蔵野市などでも、駅周辺には市政センターがあり、市役所は駅から離れたところにありました。商業の中心的な駅周辺に、市役所があることへの需要はさほどないのではないかと、私は考えます。</p>
21	<p>最優先していただきたいことは、費用です。約40億もの用地取得の出費は差し引きしても高額すぎ、国分寺市民への負担も大きくなるのではないかと思います。</p> <p>また、市のほぼ中心であることも考えると時間がかかっても現庁舎用地での建て替えを希望します。今、泉町にたくさん活性化の拠点が作られましたが、小さな図書館や公民館、商店も点在し温かみのある恋ヶ窪、最寄り駅からの近さなど考え、街の活性化にも繋げていただきたいと思えます。</p>

22	<p>前項でも指摘しましたが、各項を公平な吟味検討をして公表してください(市民に広く周知できる方法で)。</p> <p>日常の市役所機能としての立地は地理的中央地が良いと考えています。役所への市民のアクセスは、高齢化が進む中では市バス(ぶんバス)の増設や福祉タクシーの創設など他の自治体で実施している施策の実施と併せて検討することが必要です。また、国分寺市は所詮生活道路の不整備によるバリアの多い道路が沢山あります。早急な改善も必要です。一極集中の開発は街づくりの偏りが生じ、格差の多い街になってしまいます。利便性を強調するむきもありますが、災害は時として利便性に牙をむき市民生活を崩壊させます。災害では同一市内でも、被災状況は大きく違って現れます。防災の点からも、公共施設の集中は大災害でのダメージが集中して機能不全になる可能性があることを念頭に検討する事が大事です。国分寺市は南部に中央線が有り、その谷で南北に分断されています。災害時にそこを渡る橋などがそのまま活用できる保障はありません。大災害時での交通網も含めたライフラインの壊滅的損傷を想定に入れていない検討になっています。近年の災害では、ライフラインがごとごと破壊されています。それを念頭に検討して下さい。</p> <p>案A, Bの比較が対等公平に吟味されていない所があります。こちらが「有力である」との認識を排して検討資料を作成し検討の材料にして下さい。将来の世代につけを残すこととなります。国分寺市の将来を展望しての計画です。大変ですが、幅広い見識を集め考えられるあらゆる要素を想定して検討して下さい。</p>
----	---

## 2 泉町都有地への移転を希望する意見

23	<p>最初はJR国分寺駅の近くを考えていたようですが、そもそも国分寺駅自体が市の外れにありますし、我々のような内藤の住民や市の北西部に住んでいるものは電車を使わないと市役所に行けなくなるので勘弁してほしいです。</p> <p>さて、最終的な候補地の現庁舎用地(戸倉)と泉町都有地(泉町)についてですが、資料を見る限り戸倉にメリットはなく泉町でほぼ決定のような感じですね。私も泉町で問題ないと思います。現庁舎の周りを見ても道が狭くて歩行者が危険ですし、駐輪場や駐車場も狭いので不便です。また、内藤には「ぶんバス」も走っていないので内藤の高齢者は市役所に行くのも大変です。</p> <p>資料に「庁舎を中心にまちが形成されてきた歴史がある」とありますが、その意見にも疑問があります。国分寺市は国分寺駅と西国分寺駅を中心に形成されてきたのではないのでしょうか。現状、戸倉はほぼ住宅地です。そこに地上6階の高層建築を建てても異質に映るだけだと思います。同じ場所に立派な建物を建てても周りの環境も併せて改善しなければ市民の利便性は高まらないと思います。むしろスーパーマーケットでも作ったほうが周辺住民にとっては助かるんじゃないでしょうか。あの辺はお店が少ないですし。</p> <p>一方、泉町のあたりは道が広いですし土地にも余裕がありそうです(用地取得に費用はかかりますが)。</p> <p>また距離的には国分寺駅からでも歩ける位置だと思いますが、遠回り(坂を下って上って)しないと行けない感じなので直線で行けるような道を整備してもらえると助かると思います。</p> <p>市名の元となる武蔵国分寺にも近いですし泉町で良いんじゃないでしょうか。</p>
24	<p>40年余り前、近隣(F市)より転入してそれ以来当市に住まわせていただいている一市民です。当時転入手続のため訪れた国分寺庁舎とは、豪華さも無くどちらかと言えば質素で、でもそこに漂う空気は清潔で穏やかで文化的な雰囲気を感じさせられるものでした。</p> <p>生まれて初めて自分達の手で家を持ち、2人の子供を育てていく期待と夢を託すには将に理想の地域だと直感させられたたまたまの庁舎であったと記憶しております。</p> <p>さっそくですがこの度配布していただいた書類を拝読させていただいた件について意見を述べさせていただきます。折しも南青山に於ける公共施設の建設が世間をにぎわせておりますが、こういった件に対する民意を問うと、住民の意見というのは、自分にとってのメリット・デメリットを天秤にかけての回答となるのはごく当然のことかと思えます。住民の利害が相反する宿命を持つこの手の選択は一人一人の事情や都合を汲んでいては解決し難い類のものかと思えます。</p> <p>私は客観的な判断をしました。B案を支持します。ただ1点を除いて全ての点で優位性があるからです。その1点とは「埋没文化財の調査」が必要だとの内容です。これは法律的な決まり事でしょうか？あるいは文化の市・国分寺市のこだわりとか慣例とか市としての姿勢とか・・・。</p> <p>第一優先すべきは財政を押さえた合理性を優先させるその順位だと思います。もし法的な決まり事があったとしても、その決まり事と戦ってでも現代に合った(苦しい)財政に合った合理性・現状をうたえていってほしいと思います。</p>

25	<p>新庁舎の場所は、現在の戸倉一丁目では無理と言えます。小手先方式で終わることは目に見えています。</p> <p>やはり心機一転、別立地化し職員の仕事環境を大幅に改善する事が改革の一步となり得る事と思われます。それには泉町都有地内がベストと思います。</p> <p>市役所職員の意識改革を含め、物品・書類等の流れを確立することは大切な事であり、現状の付け足し・付け足しの延長では職員自らの改革は出にくいと思われます。</p>
26	<p>B案を支持します。理由(1)大地震などの災害時に、緊急避難先の国分寺公園に近接しているため、緊急対策や救助活動など迅速な対応ができる。(これが最大のメリット)</p> <p>(2)現庁舎での業務が現状のまま継続できるので行政への影響はまったくない。</p> <p>(3)現庁舎の跡地を住宅用として民間に払い下げれば都有地の購入費用が賄える。</p>
27	<p>1. 建設候補地は「㊸泉町都有地」を支持する。理由は以下の通り。</p> <p>(1) 現在進行中の再開発により、国分寺駅北口周辺が注目されていくのは大変結構だが、国分寺市が有している大きな魅力は、地名の由来となっている国分寺や、隣接する国分尼寺の両遺跡が地元にあることである。</p> <p>したがって、市庁舎をこれらにごく近い北側に建設することの意味は、国分寺市の歴史と文化の魅力を世の中に発信する拠点となり、西国分寺駅周辺の活性化が期待できることにある。</p> <p>(2) もとより国分寺市庁舎は、市民の暮らしをサポートするための重要な役割を持つべきものであるが、将来に向けて、市民が地元への誇りと郷土愛を育むための拠点(象徴)となることも重要である。大都市近郊にあってこれだけの貴重な遺跡と土地が保全されていることは驚きであり、この活用につき、市を挙げての取り組みを今後期待したい。</p>
28	<p>立て替え場所としては、B案の泉町都有地がいいと思います。立て替え費用としては掛かりますが、引っ越しは1回で済む。工期30ヶ月、避難所、多摩医療センター(旧都立府中病院)が近い。敷地面積12600m2なので、耐震を考えて低層階を建設しやすい。問題点として、埋蔵文化財調査日数が不明、費用がかかる。西国分寺駅から500mあるので、アクセス(交通)の検討。</p>
29	<p>B案、泉町都有地に賛成</p> <p>【賛成事由】</p> <p>1. 工事中の問題</p> <p>A案の場合、仮庁舎での対応期間が長くなり、その間大規模災害が発生した場合、災害への対応が十分できるのか、非常に不安である。対応は考えているとは思いますが、工事中、仮庁舎等へ個人情報を持ち出すことになるため、その間の個人情報の漏えいが起きないか、また、情報公開に対応できるのか不安である。</p> <p>2. 総合的な費用を考えるとB案が勝る</p> <p>一見すると、A案現庁舎用地の方が安くみられるが、仮設庁舎敷地賃借料、仮設庁舎リース費、仮設駐車場整備費が必要となり、この費用は、資産等として後に残らない無駄金となる。また、新庁舎完成後、現在の庁舎敷地を売却すれば、かなりの費用が賄える。</p> <p>3. 新しい国分寺の魅力</p> <p>これから、国分寺市が発展するためには、防災面、災害対策、交通面等、万一の場合に備える設備の充実が重要であり、将来的に優れているのは、B案である。また、「安心」「安全」な街として国分寺市民としてのステータスも上がることも考えられる。</p> <p>4. 現在の庁舎の場所はわかりにくい</p> <p>15年前、自宅を購入し国分寺市に引っ越してきたが、転入等の手続をする際、市役所の場所を探すのに苦労した。一般的な人が想像する市役所の場所は、JR国分寺駅または、JR西国分寺駅の周辺と思うのが普通で現在の場所はわかりにくい。これから、国分寺市が発展を遂げるためには、新規の転入者を増やすことが非常に重要であるため、JR西国分寺駅から徒歩圏内であるのは有難い。</p> <p>(参考)A案への意見</p> <p>A案で優れているのは歴史的な背景のみであると思われる。</p>



30	<p>新市庁舎の場所は、国分寺市民の利用する駅が、国分寺駅、西国分寺駅、国立駅、恋ヶ窪駅に分散していることを考えた場合、その内3駅がJR中央線の駅であり、JR中央線沿いが妥当だと思う。中でも、商業施設が多く、特別快速等や西武線への乗り換えなどで多くの人が利用する国分寺駅が一番妥当だと思うが、すでに、建設地が2択となっているので、西国分寺駅から徒歩圏内の泉町所有地が妥当だと思う。</p> <p>庁舎は、災害時の拠点としての機能を併せ持つべきだと思う。その点でも泉町所有地は、消防署が隣接していることや、大きな公園が隣接していることで、大勢の人が避難等で集合できる場所である場所であることも考えれば、かなり理想的な場所をタイミングよく利用できるチャンスと言えると思う。</p> <p>戸倉現庁舎用地は、すでに周囲に古くから住宅が密集しており、災害時に庁舎へ容易に近づけなくなる可能性もあり、拠点とするのは困難だと予想される点でも反対である。</p> <p>地元商店などが来客数の減少が容易に予想されることから反対されることは理解できるが、庁舎は恋ヶ窪のためにあるのではなく、国分寺市民全員のためにあるのだから、利便性の高さや、防災拠点としての有用性を優先して考えるべきだと思う。</p>
31	<p>建設候補地Bの泉町所有地を希望します。理由としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・面積が広いこと。</li> <li>・国分寺市の市役所として、西武国分寺線沿線よりも中央線沿線で「西国分寺」と、国分寺が駅名に入っていることで、最寄駅としての分かりやすさが増す。国分寺市以外の方へのアナウンスも含め。</li> <li>・多摩図書館・武蔵国分寺公園を含めた公共施設と一体となった周辺地域の発展。</li> </ul> <p>・用地取得は必要でも、工期を短くできれば、仮庁舎不要ということもあり、コストは差がないと思われる。</p> <p>・庁舎が市内南側へ寄ってしまうことに関しては、ぶんバスの増便等も検討していただければ解決できると思われる。</p> <p>・敷地面積・周辺の環境的に駐車場・駐輪場(レンタサイクル含む)の整備もしやすいのではないかと、等が理由として挙げられます。ご検討よろしくお願いたします。</p>
32	<p>新庁舎建設場所は利便性や周辺の環境も踏まえて、B泉町所有地が良いと思う。</p> <p>新庁舎移転構想に伴い、今後泉町の利用者が益々増加する事が見込まれる為、西国分寺駅東口開設の実現や、西国分寺駅北口～南口へのスムーズな往来の実現を急速に進める必要があると思う。</p>
33	<p>新庁舎案、ぜひどんどん進めて頂きたいです。候補地は②の泉町を推薦します。やはり建設中(おそらく相当な期間がかかる)に市民の利便性に影響を与えないことが一番です。</p> <p>また恋ヶ窪周辺は現在ではもはや国分寺市の中心地とは言えず、新しいマンションが続々建築され、都営住宅もあり、人口が密集している西国分寺駅周辺に市役所を置くことは当然と思われます。正直恋ヶ窪はアクセスしづらすぎます。私は子育て世代ですが保育園も恋ヶ窪にばかりあり、非常に不便を感じております。手続きで頻りに市役所に行く必要があるため、②の候補地に市役所があれば本当に助かります。</p> <p>また、その際はぜひ西国分寺駅の東口設置もお願いします。欲を言えば多摩図書館の貸し出しも可能にしてください。</p> <p>せっかくの意見が発信できる機会なので色々と書かせて頂きました。ぜひ一つ一つじっくり読んでいただき、ベストな選択をし、とにかく早く進めてください。期待しています。</p>
34	<p>建設候補地については泉町所有地を選択すべき。理由:新庁舎は交通の便が良い場所に建設すべきであり、利用者が相対的に多いJR駅から徒歩圏内が望ましい。結果的に、開発が途上である西国分寺駅周辺の活性化につながる。また、災害時の危機管理センターとして機能する際にも、近隣に国分寺公園がある所有地の方が採りうる施策の幅が広がる。所有地の選択にかかるデメリットとしての取得コストについては、東京都に対して公的目的での取得であることを強調し、格安での譲渡を実現すべく粘り強く交渉することはもちろんのこと、現庁舎用の用地を民間事業者売却することで市民の負担を軽減することも可能。</p>

35	<p>4. 候補地について JR 駅の徒歩圏内という希望は国分寺駅周辺を希望しているのかもしれませんが、これは国分寺駅を現在利用する人が多いことによるためと思われます。「泉町都有地」は西国分寺駅に近く、中央線と武蔵野線が交差する西国分寺駅は本来可能性が十分ある貴重な駅だと思うのですが、これまで十分には発展してきませんでした。将来の国分寺を考えると、西国分寺を中心にした町づくりを考えなくてはならないと思います。西国分寺駅周辺をどうするのかと考えたとき、できるだけ人を集めると言うことが一番大事です。人が集まらないところに発展はありません。国分寺というところが遠い将来どうなるかと言うことですが、小平と一緒に、府中と一緒に考えるよりは、国立、小金井と一緒に考えるのが、一番可能性があると考えられます。その時中心になる国分寺の庁舎か現庁舎の位置にあったとき、小金井の庁舎の方が駅に近く便利だと言うことになり、これに対して国分寺が反対するという様なことでうまく行かないことが考えられます。中央線の駅に近い「泉町都有地」は十分意味のある場所であると考えます。</p> <p>5. 施設計画の検討 現庁舎用地に建てる場合の煩雑さを考えるのと、その間の事務手続きのサービス低下を考えるとどう考えても「泉町都有地」の方が妥当であると考えます。</p>
36	<p>候補地ですが、Bの泉町を支持します。都立多摩図書館と連携をして、市民が集まる拠点にしたいと思っています。</p>
37	<p>泉町都有地を推奨します。 理由① JR幹線の中央線の駅に近く、バス道路があり、交通が至便なこと。 ② 庁舎完成までの工期が、他候補地よりも短いこと。 ③ 近くに都立多摩図書館、いずみプラザ、ほか公共建物施設が多いこと。 ④ 武蔵国分寺旧跡等にも近く、市民の歴史観が一層広まり、他地区からの来訪者も足を伸ばして貰えれば国分寺市を、【水豊かな歴史と文化の町】と、深く認識して貰えるだろうこと。 ⑤ 敷地が広く、駐車場、音楽・演劇など文化のための小ホール併設も可能になるかと思われること(西国分寺駅前のいずみホール老朽化が懸念されます)。 ⑥ 周囲が広々として明るい、緑多い地区であること。</p> <p>2. その他 建設につきもの埋蔵文化財の調査は、本市の宿命ですが、名誉で有り難いこと、ととらえ、発掘したものは出来ればその一部を、遺跡施設として見学可能なものにできれば素晴らしいと思います。が、費用については素人で申し訳ありません。</p>
38	<p>以下の理由により、「B泉町都有地」を選定すべきと考えます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国分寺跡に近いという立地は、「文化遺産を大切にすること」を市民憲章に掲げる国分寺市にとって意義があると思います。例えば、文化遺産の象徴である国分寺跡を発信する為の散歩コースの発着拠点として、市役所のロビーなどを活用することなど、考えられます。</li> <li>2. 広大で自然豊かな都立公園と隣接する立地は、庁舎で働く市の職員の労働環境を向上させ、市民へのサービス向上につながると考えます。</li> <li>3. 中央線と武蔵野線のJR2線が利用出来る。</li> <li>4. 近接する多摩図書館、建設中の古文書館、第四小学校、いずみプラザ、H34完成の消防署等の公共施設との防災面やイベント等における連携が可能。</li> <li>5. 西国分寺駅東側の交通広場の活用を促す(JRに対して、武蔵境駅などにある無人自動改札口を交通広場の線路沿い(中央線の下りホームに階段で接続させる)に新設することを申し入れ、交通広場周辺の活性化につなげて欲しいです)。</li> <li>6. 西側に隣接する東山道のオープンスペースはおよそ5,600㎡(W14m×L400m)あり、災害時やイベント時には、市役所庁舎と連携出来るオープンスペースとして多様な活用が見込める。</li> <li>7. 用地取得費40.4億については、我々は都民でもある為、都民としては収入にカウント出来ることから歓迎出来る。</li> <li>8. 都民の立場として、都有地の公共的な活用として歓迎出来る。</li> <li>9. 現市役所用地を売却する場合には市の収入になる(今後確実に需要が増加する老人ホーム等の民間老人福祉施設の一大拠点とする事で、老人のためになるだけでなく、市内の若年層の雇用も創出出来る)。</li> <li>10. 隣接する都立公園の“ふれあい橋”の大きな階段から、新庁舎の建築の眺めが楽しめる。</li> </ol> <p>以上、市議会での議論に反映していただきますよう、お願いいたします。</p>

39	<p>新庁舎建設の候補地に、「B 泉町所有地」を支持する。 理由として一点目として、「A 現庁舎用地案」よりも、用地取得費などにおよそ40億円余計にかかるものの、利便性、工事における工期の短さの点で特に優れていること。 二点目として、現庁舎跡地を活用して、病院を建設することが可能となること。</p> <p>新庁舎建設案の利点 まず、利便性について、現庁舎は、国分寺市を貫くJR中央線の駅から離れており、市内各地域から市役所へのアクセスが総じて悪い。バス路線が、国分寺駅・西国分寺駅から市役所周辺にアクセスする系統はないことも利便性を悪くする要因のひとつである。 新庁舎建設の工事については、現庁舎用地における建て替えでは、庁舎の仮移転や駐車場の閉鎖など、業務に支障を与えることも多いと想定される。</p>
40	<p>泉町移転の場合の新庁舎の想定事業費の算出にあたっては、跡地利用も含めた算定が必要ではないか。所有地の取得についても現庁舎の借地権保有地との交換可能性、あるいは国分寺3・2・8号府中所沢線開通後に現庁舎の借地権保有地を売却する場合等。</p> <p>泉町移転に賛成であるが、原案のコストの見せ方ではコスト面でのデメリットが映りすぎる。跡地利用が未定であるならば、解体費用の不明についても計上すべきではない。 いずみプラザやひかりプラザ等の分散庁舎解消後のコストメリットについても別に示して欲しい。それによって総事業費としては泉町用地の方が費用が掛かるとしても、イニシャルコストを何年で回収出来るのかも見えやすくなるのではないか。</p>
41	<p>建設候補地の特徴(表2)の内容からしてB泉町所有地にするべきです、今後の行政、他遺跡、観光地など世界に発信する国分寺市の玄関としてすべての面でB泉町所有地を外すことは進歩につながりません。市会議員の皆様はこのチャンスをバネに、しっかりと国分寺市の発展を見据えて頂きたい切にお願いします。</p>
42	<p>建設候補地の特徴(表2)の内容からしてB泉町所有地にするべきです、今後の行政、他遺跡、観光地など世界に発信する国分寺市の玄関としてすべての面でB泉町所有地を外すことは進歩につながりません。市会議員の皆様はこのチャンスをバネに、しっかりと国分寺市の発展を見据えて頂きたい切にお願いします。</p>
43	<p>新庁舎建設の3つの基本理念については賛成ですが、新庁舎は今後長期間使用されますので、管理・運用費など必要な経費はこれからも増大して行くものと考えられます。市の財政状況を考えると、今後も厳しい状況が続くと思われます。節約はもちろん大切ですが、市でも税収以外で何か収入を得る方法を考える必要があるのではないのでしょうか。たとえば、新庁舎の上層階を賃貸住宅として家賃収入を得て、それを管理費の一部や庁舎の修繕積立にあてる等、かかる予算の節約になるのではないのでしょうか。実際、豊島区の新区役所の庁舎は上層階を住居にしているとのこと。せつかく新庁舎を建設するので、将来にわたって何か付加価値を生み出すものとしたいです。また、非常時に使用する発電機を設置とのことですが、平時でも非常時でも使用できるソーラーパネルの設置予定はありますか？ 以上のことや工期・工法を考えると延床面積の広い泉町所有地のほうが可能性があると思います。</p>
44	<p>地方自治体の庁舎建設に際しては、まずもって百年の計として立案すべきです。庁舎の建設は住民の負担する税金によって行われることを考えれば、可能な限り経費の節減に注力せねばならず、それには綿密極まる計画を立てる義務と責任が求められると思います。</p> <p>以上の点を脳裏に入れたうえで、市が掲げた建設候補地2案を精査すると、防災性、利便性、まちづくりの3条件においては、泉町所有地が断然有利であることは、われわれ素人の目にも明らかです。もちろん現庁舎近隣住民にとっては、現状維持が好ましいであろうことは理解できますが、反面他地域住民の大多数は泉町所有地を選択するのではないのでしょうか。第一にバス以外の交通機関によるアクセスは、現庁舎は西武線(運転間隔が長い)しか無いのに対し、泉町は中央線と武蔵野線があります。第二に泉町は西国メイン他多くの商店があり市役所帰りの買い物に便利なことです。第三に西国駅周辺には各種医院が多く、これもまた多くの市民にとって便利です。第四に、市の日常業務を通常通り行いつつ新庁舎を建設できることは、市にとっても市民にとっても大変助かります。第五に、十分な駐車場スペースが確保出来ることです。</p> <p>以上のとおり、泉町所有地の利便性は、誰もが認めるであろうことは否定できない事実であり、市としても何ら躊躇することなくB案の実現に邁進されることを切望します。</p>

45	<p>4. 候補地・5. 施設計画の検討について  私は「泉町用地」に賛成である。  様々検討されている通り「泉町用地」のロケーションは現状では市庁舎として最適である。土地取得に費用が掛かるが、市(市民)の財産が増えるわけで最適の土地を逃すのはもったいない。  また、施設計画における戸倉の現庁舎での建て替えは仮設費用というムダ(将来何も残らない)が必要であり、さらにローリング計画には不確定要素が多く費用の見込みのズレが大きくなる不安もある。このような計画は他市の例を見ても予測できない大きなズレが生じ見直しを迫られている。</p>
46	<p>新庁舎については、2年ほど前泉町で決定したという話を聞きましたが、その後巻き返しがあったのでしょうか。  泉町のメリットは、  ①中央線の駅に近く、現有地よりは交通の便が良い  ②向かいの泉プラザとも一体的に行政ができる  ③工期が短く、恐らく費用も安い(費用比較は現有地の土地の売却費用が入っていないため、公平ではない)  ④現有地に仮庁舎を作り、それを壊して新庁舎を建設するという資源の無駄を排除できる  デメリットとしては、  ①中央線の南側は市議員が4名しかいないため、政治的に決定が難しい可能性がある  ②新しい地域のため、なじみがない。また郵便局がない。  ぐらいでしょうか。現有地は、高齢化の進展が著しく、商店街はすでに消滅しており(進学塾しかない!), 行政の基盤を置くことの意味がないと思われます。</p>
47	<p>1.建設場所について  ①防災の観点を最優先すべきであり、国分寺消防署が移転となること、公園が避難場所となること、災害時に空からのアクセスが可能、緊急輸送道路から近いことから、建設場所は泉町所有地とすべきである。  ②A-1案及びA-2案は、立替えのための仮庁舎に多額(A-1は13.6億円、A-2案は2.3億円)な費用が必要で、財産を構築しない無駄な経費である。  ③課題のとらえ方について、案Bは、用地取得費が必要になること、現庁舎用地の跡地活用の検討が必要とあるが、これを「課題」と捉えるのではなく、「チャンス」と捉えるべきである。  ④用地取得費は40.4億円との表記があるが、東京都と連携した広域的な防災拠点などの位置付けから、東京都財務局等と用地取得費の1/2軽減は目標にすべきである。これは、政治的対応も含めた最低限の達成目標である。  ⑤泉町所有地は、庁舎だけではなく、これを契機として西国分寺駅東口の開設の可能性も浮上してくる。中央線に橋梁ができれば、姿見の池へのアクセスも可能になる。  さらに、(仮)市民文化会館建設予定地だった土地については、契約上、20年の定期借地権であるから、将来的に、この土地の活用も含めて、泉町周辺の魅力あるまちづくりにつながる可能性がある。</p>
48	<p>新市庁舎の建設予定地を戸倉の現市庁舎用地と泉町所有地の二者択一とするのであれば、当然の選択は泉町所有地である。発展性のない恋ヶ窪にこれから先長く使用する新市庁舎を建設することは考えられない。中央線の西国分寺駅に近く、今後の発展が予想される泉町を選択するのは当然である。  想定事業費として、現市庁舎用地での建て替えの場合は約100億円/111億円、また泉町所有地で建設の場合は土地購入費込みで約138億円と見込んでいる。所有地の用地取得費を約40億円と見込み、「隣接地実績参考」とあるが、この「隣接地実績参考」とはいかなる意味か? 新市庁舎の建設候補地としてあげるからには、当然のことながら既に東京都に打診し、譲渡あるいは賃貸借の可否、その場合の概算費用を入手していなければおかしいのではないか。それを踏まえて市民に問いかけるのが筋であろう。全く東京都に打診せずにこのような提案をしたとすれば、画餅の詭りを免れまい。この土地は国鉄の鉄道研究所の跡地と記憶しているが、国鉄から東京都が公園用地として購入したということなのか? そうであれば、その際の土地の売買金額が分かるであろうし、また東京都が国分寺市にこの土地を譲渡または賃貸することを承知しているのであれば、民間のマンション建築事業者への売却とは異なり、公益のための土地利用であるから、特別廉価での譲渡/賃貸借も当然期待できよう。少なくとも東京都との交渉経緯を踏まえて市民に意見を求めて頂きたい。また、泉町へ市庁舎を移転する場合には、現市庁舎用地は不要となるのだから、民間マンション建築業者へ売却し、跡地を総合開発してもらえば、恋ヶ窪地域の発展にもつながり、泉町所有地の購入資金にも充当できると考えるのがいいか? </p>

49	<p>フェアな視点で見て、この先長い期間で市庁舎としてふさわしいのは、泉町都有地だと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乗換、乗降客の多い利便性の高いJR駅が最寄であること。</li> <li>・広い都市公園や図書館があり、いずみホールや医療・福祉関係施設もあり、新しい消防署もできる。</li> <li>・アクセスや新たな交通も整備しやすい。</li> <li>・費用がかかるといっても、市内の重要な拠点一団土地を得るなら、イコール＝市の資産になるから、着手時の金額の多寡だけの比較問題ではない。(むしろ金額を言って、貴重な立地を逃すことの方が、長い視点で見れば損失とも言える。)</li> <li>・説明資料や上記も踏まえ、災害対策拠点として非常に望ましい立地と言える。</li> <li>・国分寺跡は、そもそも国分寺という土地のオリジンであり、歴史・文化的な観点からも隣接の土地に拠点を置くことには意味がある。</li> <li>・新たな拠点ができることにより、市全体の新たな活性化を促す契機となる可能性があること(それにふさわしい、整備された土地のポテンシャルと駅があること。)</li> </ul> <p>(この後は、個人的な感想ですが、)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私自身は、ご縁があってたまたま御市で勤務することとなったが、首都東京に属する自治体の庁舎が、どちらかというマイナー(地元を愛する皆様ご容赦ください。)な立地にプレハブで分舎で運営されていることに、正直驚きと衝撃を受けました。</li> </ul>
50	<p>泉町都有地を希望します。現庁舎用地は交通の便が悪い。また、いずみプラザも近く一カ所にまとまっていてわかりやすい。以前市役所に行ったが、いずみプラザですと言われ、驚愕としたことがある。現庁舎用地になり、仮設になるとまた更にわかりにくくなるので、B案が混乱なく進むと思います。</p>
51	<p>結論を述べると建設候補地は「B泉町都有地」が望ましいと考えます。 理由は以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本構想の観点 基本構想として掲げる災害対策拠点の観点から、近隣に多くの市民が避難所として利用できる公園(都立武蔵国分寺公園)があります。さらに、国分寺消防署、いずみプラザという緊急防災施設が隣接していることは基本構想に則り、最適な立地と判断できると考えます。</li> <li>2. 未来の市庁舎の観点 未来の新庁舎のあり方として、ワンストップサービスを機能させるだけでなく、人の繋がりが希薄している昨今において、市民の交流の場としての発展性を付加することが望ましいと考えます。B泉町都有地においては、市民が市庁舎に足を運ぶ動線のなかで、国分寺の歴史、自然環境などスポット(都立多摩図書館、都立武蔵国分寺公園等)があり、人と人がつながるコミュニケーションの機会が自然体で醸成されると考えます。</li> <li>3. 事業費の観点 事業費について、イニシャルコストはB泉町都有地の方がコスト増となっておりますが、A現庁舎の試算では両案ともに建設費が上振れする可能性が高いとの記載があり、流動的です。 財政面から予算の上振れリスクは、今後の説明責任などの対応も考慮する必要があり計画進捗に支障を招くことも想定されます。一方、Bについては土地活用方法によって軽減される可能性(下振れ)があり、予算管理と予算遂行という観点から、現時点においてコストが限りなく明確化されている方が、望ましいと考えます。</li> </ol>
52	<p>①西国分寺案に賛成です。</p>

### 3 移転時の跡地活用に関する意見

53	<p>尚、現在地は平地化し、恋ヶ窪駅前に広場を造り且つ、現状の郵便局・保育園・小／中学校・公民館図書館、現商業地区と一体となり恋ヶ窪地域の活性化に繋げて欲しいと思います。</p>
54	<p>それでも市役所が泉町に移転するというならば、現在地をスポーツセンターや図書館自習室や市民サークル室などを備えた複合施設、けやきモールの様な民間商業施設等、様々な世代が集まるような施設を作り、地域活性化を図るべきです。跡地がさびれていく事のないよう対応をお願いします。また、戸倉や並木町、北町などは新府中街道ができると、恋ヶ窪駅の利用に市役所北西側の横断歩道が必須ですが、跡地がどのような施設や万が一住宅になったとしても、恋ヶ窪駅や多摩信用金庫の方へ抜けられるよう歩道や道路を作ったり、都営団地から恋ヶ窪病院へ渡れるよう、アンダーパスにかかる陸橋を作るなどして頂き、昔の中央センター付近の交差点から回り込むなどアクセスが悪くならないよう、市役所北西側の住民が恋ヶ窪駅に向かってダイレクトに往来できるように跡地を含め配慮をして頂きたいです。市役所移転後、残された住民の動線が分断されれば、ますます国分寺は繁栄に偏りのある街となってしまいます。動線も含めた跡地の活用、新府中街道沿いの開発が移転後の本地域活性のキーポイントになるかと思えます。ぜひ、国分寺北側の住民を見捨てないで頂きたいと思えます。</p>
55	<p>むしろ、戸倉庁舎跡地を開放的な公園にするなどして、街の魅力をアップしたり、多くの人が集う場所に変えることを検討するほうが建設的であると思う。</p>
56	<p>2. 泉町に移転する場合に、現市役所跡地の利用の仕方を決めていないことが問題だと思えます。近年の開発では国分寺市としてパチンコ、パチスロ等の娯楽施設を優先しすぎており、地域で暮らしている市民をないがしろにする施設がある新設されることが多いです。国分寺に関するウェブの情報にも上記のようなコメントが散見されます。継続的な発展をもたらせるよう、新しい世代に住みやすい、魅力的な施設を誘致するようにしてもらいたいです。</p> <p>4. 跡地利用の追記ですが、食料品以外の日用品を買う施設が国分寺には駅ビル以外ありません。駅ビル内も限られた商業施設であるため、必要なものを揃えるためには立川など他市に依存するしか無い状況です。是非この機会に本当に住みやすい国分寺市を目指していただけるようお願いいたします。</p>
57	<p><b>支所の維持と地域医療支援病院の建設</b></p> <p>次に、現庁舎跡地の活用方法として、市役所の支所としての機能の維持と、地域医療支援病院の建設を挙げたい。泉町都有地に新庁舎を建設し、市役所を移転させた場合、現庁舎周辺住民による、公的サービスの低下を懸念する声が上がると予想される。これに対して、現庁舎跡地を有効に活用する方法が求められる。</p> <p>第一の懸念としては、移転による市民の利便性の低下である。これまで市役所に近かった住民からは、身近にあった行政機関が遠のくことで、行政サービスの利便性が低下するのではないかと懸念が生じると思われる。</p> <p>第二の懸念としては、移転による商業的価値の低下である。市役所で勤務する職員が行き来する中で、恋ヶ窪駅周辺には商業機能が少なからず存在している。市役所の移転によって、すべての機能が移転するという事になると、大きな価値の低下となる。</p> <p>第一の懸念に対して、支所としての機能を維持することで、基本的な行政手続きが可能であることを訴え、利便性の低下にならないよう配慮する。</p> <p>第二の懸念に対して、地域医療支援病院を建設することで、市役所に勤務する職員数と同等以上の職員が行き来することになるよう計画を立て、商業的価値に配慮する。</p> <p><b>新庁舎跡地での地域医療支援病院の具体化</b></p> <p>国分寺市が属する北多摩西部医療圏(立川市   昭島市   国分寺市   国立市   東大和市   武蔵村山市)は、将来人口推計は減少であるものの、今後も医療介護需要予測は、大きな増加とされている。ただ、北多摩西部医療圏の中心は立川で、国分寺市は医療圏の中で最も東にあり、中心地域から離れた状況となっている。</p> <p>また、市内には、救急医療について、診療所の当番制はあるものの、救急指定病院はなく、需要を医療圏を越えた周辺市の医療施設に依存する状況となっている。</p> <p>新庁舎跡地は、今後、新府中街道が接することになり、道路の開通の利益を大きく得ることになる土地である。隣接する市を含む救急医療の需要を取り込みながら、市内の医療需要を満たす拠点となることができると考える。</p>

58	<p>今回の意見募集は、泉町移転をより強固に後押しするための布石だろうとは思いますが、もし泉町へ移転する際は市が責任を持って市役所跡地の整備・有効活用を約束してください。廃墟とならないよう、切にお願いします。</p>
59	<p>また、現庁舎解体後の土地活用も気になります。時間はまだありますので、いろいろなプランを今から練っておくのも良いと思います。市民から活用法の意見を聴くのもありだと思います。個人的には収益性のある土地活用を期待します。例えば</p> <p>①近隣住宅に圧迫感を与えない程度の賃貸集合住宅の建設(恋ヶ窪駅に至近のため条件は非常に良いと思います)</p> <p>②都市計画道路のそばであるので“道の駅”のような業態を誘致し、(近隣住宅に配慮して24時間営業は不可)国分寺の農産品や物産品の販売、その他多摩地域農産品の販売などを通して、地域の活性化や収益の拡大をはかる。</p>
60	<p>3. 新市庁舎建設地が、現在位置から移る時には、残る地域の公的な交通手段(西武鉄道、民間企業の路線バス、タクシー)の利便性確保が、経年毎に困難になって行くことが見込まれます。流動性や活気が少なくなると街並みは廃れて行き、残された地域の市民生活者は増加することなく過疎化が早まって、地域の安全安心度は下がり、土地用途価値も下がって固定資産価値は大幅に下がって税収に大きく影響すると見込まれます。市内の最大の公的施設である市庁舎が移転することによる将来発生する問題をクリアにする事も大切と思います。早急に現市庁舎周辺地域の居住者・店舗・交通事業者等が入った検討を実施して、問題点と対策を公表される事を望みます。</p>
61	<p>2.建設手法と現庁舎用地の活用について</p> <p>①建設手法と現庁舎用地の活用について切り離して検討するのではなく、一体的に検討すべきである。つまり、新庁舎の設計施工(DBなど)の提案と同時に、現庁舎の跡地活用の提案(土地評価・活用計画)を受ける方式を検討すべきである。</p> <p>②この民間提案によって、新庁舎の建設費の縮減が図れるとともに、現庁舎の土地活用により、恋ヶ窪駅周辺の活性化につなげることができる。</p> <p>③まずは、新庁舎の場所を泉町に確定するとともに、現庁舎用地の活用条件を検討するための市民参加手続きを行い、公募条件を決定することが必要である。</p> <p>④土地利用計画は、都市マスタープランに基づき、地区整備計画などが考えられる。要は、民間がより高い価格で土地活用ができる条件整備をすることである。具体的には、50年の定期借地権などが考えられる。</p> <p>⑤その上で、新庁舎計画の提案募集を行う。新庁舎の提案とともに現庁舎用地の提案を同時に受け「総合評価によるプロポーザル方式」が考えられる。</p>
62	<p>跡地には要望の高い保育園や高齢者福祉施設を建設するのはどうでしょう。</p>
63	<p>「国分寺市新庁舎建設基本構想(概要版)(案)5新庁舎の施設計画の検討 表4」について 「建設前」の「案B泉町都有地」で「用地取得費が必要になる／現庁舎用地の跡地活用の検討が必要」として、案Bが確定した場合、費用捻出の為に現庁舎用地を民間企業に売却することは念頭にあるのか。市民の大切な財産です。市民のための公的施設として活用してください。民間企業は、絶好の場所として狙っています。</p>